

東海市イングリッシュ・サロン第3回「楽しい英会話」実施要項

国際福祉開発学部 米津ゼミ

担当：田辺紫野 柳田祐弥

- 1 日時：令和5年10月7日（土）10：00～12：00
- 2 会場：日本福祉大学東海キャンパス
- 3 参加者：東海市の小学生
- 4 目的：
 - ・英語の楽しさに触れ、子ども達に英語に興味をもってもらうため。
 - ・大学と地域の交流を増やすため。
- 5 活動のねらい：
 - ・I want to be～ を使って文章を作ることができるようになる。
 - ・職業とハロウィンに関する単語を言えるようになる。

6 進行表

時間	活動内容	大学生の動き
10:00 (5分)	挨拶 ・ テーブルメンバーで簡単に自己紹介をする。	・ 英語を楽しませることができるように、明るい声・表情を意識して子どもに接する。
10:05 (10分)	歌 ・ “Seven Days”を2回聴いてもらう。 全体で少し練習した後、音楽に合わせて歌う。 Seven Days English Word Song Word Power Pinkfong Songs for Children	・ 初めて扱う曲なので、1回目はどういう曲かを知ってもらい、2回目で流れをつかんでもらう。 ・ 大学生は小学生のサポートをする。
10:15 (5分)	前回の復習 ・ 建物や場所の名前をリピートする	・ 前回のスライドを使う。 ・ 前回いなかった児童には、大学生がサポートする。
10:20 (10分)	ハロウィン文化の学習 ・ アメリカのハロウィン文化について学ぶ。	・ スライドで紹介する。 ・ クイズ形式(選択式)で行う。
10:30 (20分)	文法と英単語の学習 ・ ghost, pumpkin, dracula, devil, dancer, singer, fire fighter, doctor, chef, teacher, soccer player, farmer, actor, fisher, pilot, musician, police officer, programmer, carpenter, comedian ・ I want to be ～.	・ スライドで説明する。 ・ I want to beを大学生に聞く。 ・ グループでI want to beを考える。 ・ 小学生に代表で発表してもらう。
10:50 (10分)	休憩	

11:00 (15分)	ビンゴの準備 ・ビンゴの用紙に1から20の数字を当てはめる。	・時間があれば、数字を英語で言えるか質問し、復習する。
11:15 (25分)	ビンゴ・ゲーム ・スライドでイラストを表示し、その単語を当ててもらおう。 ・その後に数字を映し出し、ビンゴ用紙に書いてあれば丸を付ける。	・映し出された数字を英語で言う。
11:40 (10分)	まとめ：到達カードに記録 ・I want to be～を使って文章が言える。 ・単語を3つ覚える。 ・グループの大学生が持つカードの英単語が言える。 振り返り ・今日の活動についてのアンケートに答える。	・学生が小学生に質問を3つして確認できたらシールを貼る。 ・時間が余ったら単語をリピートする。
11:50 終了	終わりの挨拶	・大学生からよくできたことを具体的に取り上げて、ポジティブ・フィードバックを伝える。

7 留意点

- ・参加者の体調管理に努める。寒くなってきているが、水分補給や室温管理をする。
- ・児童が不慣れな環境で怪我をしないように、勢いよく走ったり、可動式の机・椅子などの備品にもたれたり乗ったりするようなことが無いように注意する。
- ・児童同士で揉め合うことも予想されるため、常に様子を観察して、何かあればすぐに対処できるようにする。